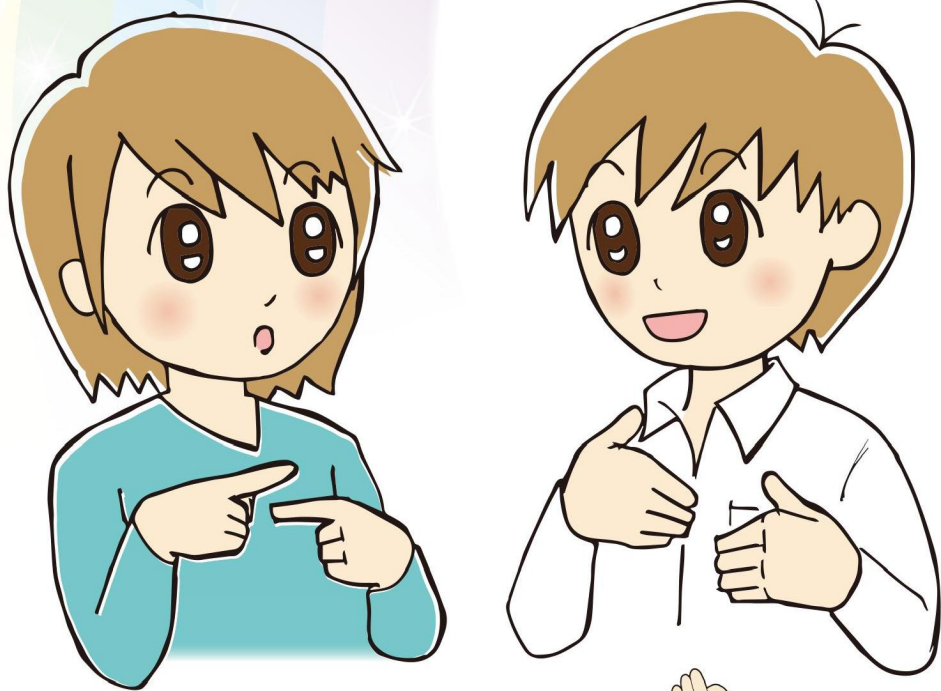


しゅ わ  
手話ハンドブック



あまがさき し  
尼崎市





もくじ  
目次

はじめに .....	1
あまがさき しゅわ げん ごじょうれい 尼崎市手話言語条例のポイント .....	1
きこえない人・聞こえにくい人って? .....	2
きこえない人が困ること .....	3
きこえない人とのコミュニケーション方法は? .....	4~5
きこえない人・聞こえにくい人が日常生活で使う福祉機器 ..	6~7
しゅわ おぼ 手話を覚えよう(あいさつ) .....	8~9
しゅわ おぼ にちじょうせい かつ 手話を覚えよう(日常生活) .....	10~13
しゅわ おぼ めいしょ 手話を覚えよう(名所) .....	14~15
しゅわ おぼ かんじょう ひょうじょう 手話を覚えよう(感情・表情) .....	16~17
しゅわ おぼ すうじ じかん ひつけ 手話を覚えよう(数字・時間・日付) .....	18~21
しゅわ おぼ しぜん 手話を覚えよう(自然) .....	22~23
しゅわ おぼ きょういく きかん 手話を覚えよう(教育機関) .....	24~27
しゅわ おぼ 手話を覚えよう(スポーツ) .....	28~29
しゅわ おぼ しゅみ 手話を覚えよう(趣味) .....	30~31
しゅわ おぼ こうつう きかん 手話を覚えよう(交通機関) .....	32~35
しゅわ おぼ こうてき きかん 手話を覚えよう(公的機関) .....	36~39
しゅわ おぼ エスエヌエス 手話を覚えよう(SNS) .....	40
しゅわ おぼ アイティー 手話を覚えよう(IT) .....	41~43
しゅわ おぼ いりょう きかん 手話を覚えよう(医療機関) .....	44~47
しゅわ おぼ ふくし 手話を覚えよう(福祉) .....	48~49
しゅわ おぼ さいがい 手話を覚えよう(災害) .....	50~53
しゅわ おぼ あまがさき し ない ち めい 手話を覚えよう(尼崎市内の地名) .....	54~55
しゅわ おぼ ゆび もじ 手話を覚えよう(指文字) .....	56~57



## ～はじめに～

あまがさき し しゅ わ げん ご り かい ふか しょうがい う む わ へだ  
尼崎市では、手話が言語であるとの理解を深め、障害の有無によって分け隔て  
られることなくお互いを尊重し、理解して共に生きることができる社会の実現を  
めざ へいせい ねん がつ あまがさき し しゅ わ げん ご じょうれい せいてい  
目指すため、平成29年12月に尼崎市手話言語条例を制定しました。

このハンドブックでは、みな ちょうかくししょうがい しゅ わ り かい ふか  
皆様、聴覚障害や手話について理解を深めていた  
だくとともに、おお しゅ わ ひょうげん かい わ れい も こ じっさい  
多くの手話表現や会話例、コラムなどを盛り込んでいます。実際  
にろう者と手話でコミュニケーションを取るための、さんこう  
参考にしてください。

ぜひ、手に取って、手話の世界に触れてみてください。

### あまがさき し しゅ わ げん ご じょうれい 尼崎市手話言語条例のポイント

- 手話に対する理解
- ろう者に対する理解

しょうがい う む わ へだ  
障害の有無によって分け隔てなく  
とも い しゃがい じっげん めざ  
共に生きることができる社会の実現を目指す

#### わたし やくわり 私たちの役割

##### しみん やくわり 市民の役割

- ◆ 手話とろう者への理解
- ◆ 手話等に関する市の施策に協力

##### し やくわり 市の役割

- ◆ 手話とろう者への理解、手話の普及の促進に関する施策の策定・実施

##### じぎょうしゃ やくわり 事業者の役割

- ◆ 手話とろう者への理解
- ◆ ろう者が利用しやすいサービスの提供、ろう者が働きやすい環境の整備
- ◆ 手話等に関する市の施策に協力



# 聞こえない人・聞こえにくい人って？

## ろう者

生まれつき聞こえない、あるいは乳幼児期に失聴した人のことをいい、手話で会話する人です(手話で会話しなない人を含む場合もあります)。個人の成育歴、受けてきた教育、言葉の理解力、情報量などには個人差があります。



## 難聴者

耳が聞こえにくい人のことです。補聴器を使用していますが、音は聞こえても言葉まで聞き取れない人など、聞こえの程度には個人差があります。会話のときは補聴器を使用しながら、口元を見て言葉を理解している人が多いです。



## 中途失聴者

言葉を覚えた後で、事故や病気で聞こえなくなった人のことです。話すことはできますが話せているから聞こえていると誤解され、不便に感じている人がいます。

## ろう重複障害者

聴覚障害に加え、視覚障害、知的障害などの障害を重ね持った人のことです。このうち、視覚と聴覚の両方に障害を持つ人のことを「盲ろう者」といい、意思を伝える際には、視覚と聴覚の障害程度によって、触手話、指点字、音声など様々なコミュニケーション方法を用います。





# 聞こえない人が困ること

## 生活・街を歩いているとき

- ・外見からは聴覚障害があることがわからないため、声をかけられても気付かず、周りから「無視された」と誤解されることがあります。
- ・後ろから来る自転車のベルや、車のクラクションの音が聞こえません。



## 店・会話・会議のとき



- ・店員に話しかけられても、何を言っているのかわかりません。また、声に出して話すことができない人もいますので、正しく伝わらずに誤解されてしまうことがあります。
  - ・口話でのコミュニケーションをするときに口の形が似ている言葉はわかりにくいです。
- 例) 待ち合わせの時間  
1時「いちじ」、2時「にじ」、7時「しちじ」は口の形が似ています。そのため、間違いが起こってしまうことがあります。
- ・会議などで発言が早すぎたり、発言が重なったりすると内容がわかりません。

## 電車・災害が起きたとき

- ・電車が突然停車したときや遅れたとき、または災害が起こったときなどの放送が聞こえません。そのため、電光掲示板などの表示がなければ、まったくわかりません。
- ・災害が起こったとき、音声による情報や放送がまったく聞こえません。そのため、判断が遅れ、命にかかわることもあります。

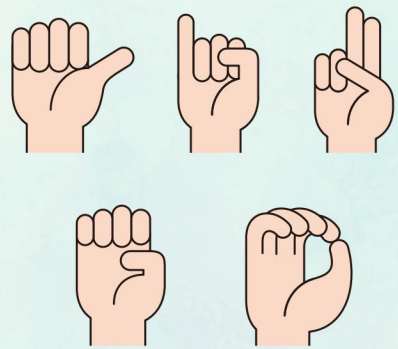




# 聞こえない人とのコミュニケーション方法は？

## 手話

聞こえない人の生活から生まれた「目で見る言葉」です。  
聞こえない人が手や指の動き、表情などによって、視覚的に意思や気持ちを伝える言語です。

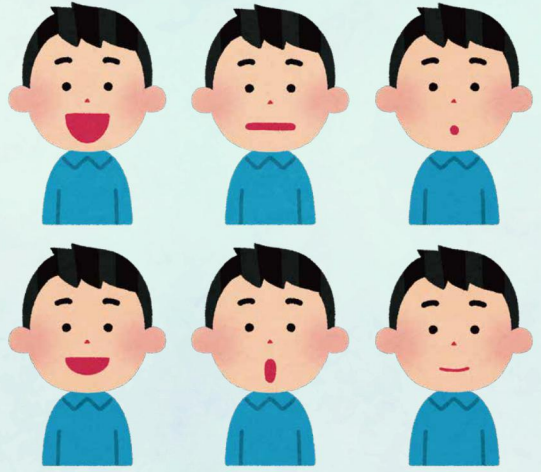


## 指文字

50音を手の形で表現する方法です。  
手指を組み合わせて作る形で文字を表すものです。  
手話単語にない言葉、人名、地名などを表現するときに使います。

## 口話

話をしている人の口の動きを見て内容を理解する方法です（口の形が見えるよう、マスクは外してください）。  
大きな声で話す必要はありません。  
同じような口形の言葉は読みづらいです。  
（例：雨・亀）



## 筆談



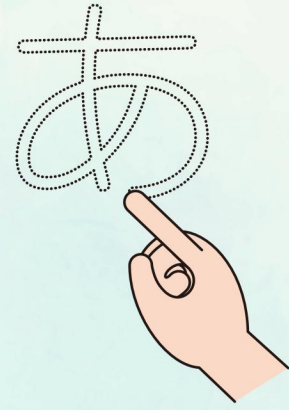
書いた文字を見てコミュニケーションをとる方法です。  
ペンや紙がなくても手に文字を書く方法や、携帯電話などに文字を打つ方法もあります。  
聞こえない人の中には、文章を理解することが苦手な人もいます。簡潔な文章と読みやすい文字で書いてください。

そら がき  
空 書

※「くうしょ」とも読みます

筆記用具がなくても、空中に文字を書いて伝える方法です。

大きくゆっくりと文字を黒板に書くようにして伝えてください。



## コミュニケーションのポイント

1. 一つの方法にこだわらず、目で見えてわかる方法を組み合わせてコミュニケーションを工夫しましょう。

例① 口話+筆談



例② 手話+身振り



2. 話すときは顔が見える位置で、ゆっくりはっきりと話しましょう。

3. 内容が正しく伝わっているか、確認しながら話しましょう。



4. 講演や説明会などに聴覚に障害のある人が参加する場合、手話通訳者や要約筆記者を配置し、コミュニケーション支援を工夫しましょう。





# 聞こえない人・聞こえにくい人が日常生活で使う福祉機器

## 情報通信装置(FAX、TV電話など)

電話が使えない聴覚に障害がある人にとって、文字や画像で意思を伝えるための、大切なコミュニケーション機器です。このため、講座やイベントの申込みなど、多くの人に連絡先を伝える際には、電話番号だけでなくFAX番号も記載することが、聴覚に障害がある人への配慮になります。



## 屋内信号装置



屋内信号装置は、屋内において来客などを知らせる玄関チャイムやその他の生活音、音声などをセンサーがキャッチし、光や振動などで知らせるための機器です。その組み合わせは使用する環境により多様です。例えば、来客、ドアのノック音、赤ちゃんの泣き声、また火災などの非常事態を知らせることなど、様々な場面に活用されています。

## 振動式目覚まし時計

振動で時刻を知らせるもので、目覚まし時計のベルが聞こえない聴覚に障害がある人にとって便利な時計です。据え置きタイプや腕時計タイプ、他の屋内信号装置との組み合わせなど、様々なタイプがあります。



## 情報受信装置(アイドラゴン4)



障害者放送通信機構の番組を見るためのデコーダです。聴覚に障害がある人向けの手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」を見ることができ、災害時にはリアルタイムで手話・字幕ニュースを見ることができます。

(※インターネット環境が必要です。)



## 補聴器

補聴器は、音を大きくする機器です。形状は、ポケット型や耳かけ型、耳あな型など多様です。補聴器は、その人のライフスタイルや耳の形状、聞こえの程度などによって、適性が異なります。

みみ がた ほちょうき  
耳かけ型補聴器



みみ がた ほちょうき  
耳あな型補聴器



## 人工内耳

人工内耳は、蝸牛(※耳の奥にある聴覚を司る器官)の代わりに音を電気信号に変換し、直接神経を刺激して脳へ電気信号を送る装置です。人工内耳を装着した場合も、聞こえの程度には個人差があり、補聴器と同じく、音は聞こえても言葉まで聞き取れない人もいます。



## ここまでのまとめ

ここまでのページでは、聴覚に障害のある人がどのような人たちが、どんな事に困っているのか、どのようにコミュニケーションをとるのかなどを紹介しました。ここからのページでは、日常生活などに関わる手話を紹介していますので、実践で活用できるよう、学んでいってください。

そして、このハンドブックで学んだ後、これまで紹介した情報やこれから学ぶ手話を活用し、聞こえない人とのコミュニケーションを体験いただくことで、誰もが自らの言語で意思疎通を図ることがどれだけ大切かを実感してみてください。

また、コミュニケーション方法については、主なものを紹介しましたが、他の方法もあり、その場面に適した方法でコミュニケーションを取ってください。音声言語を使う聞こえる人でも、どれだけ言葉を尽くしても、上手く思いが伝わらないことがあるように、手話や筆談のみでは、伝えきれないことがあります。できるだけ、複数の方法を併用して、コミュニケーションを取ってみましょう。

さあ、手話を学んでいきましょう!





しゅ わ おぼ  
手話を覚えよう(あいさつ)

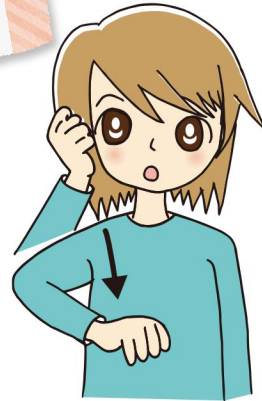
あいさつ



かいせつ  
解説

むなさき む あ た りょうてひとさ  
胸前で向かい合わせて立てた両手人差し  
ゆび どうじ ま  
指を同時に曲げる。

おはよう



かいせつ  
解説

こめかみにあてた右手のこぶしを下ろす。

こんにちは



かいせつ  
解説

た みぎて し かさ ぜんぽう ひたい ちゆう  
立てた右手2指を重ねて前方から額の中  
おう  
央へあてる。

こんばんは



かいせつ  
解説

て 手のひらを前へ向けた両手を弧を描いて  
まえ む りょうて こえが  
ひよめ まえ こうさ  
引き寄せ、目の前で交差させる。

すみません



かいせつ  
解説

つまんだ右手2指の指先を眉間にあて、  
みぎて ひら  
右手を開きながら、前へ出す。

よろしく  
ねが  
お願いします



かいせつ  
解説

はなさき お みぎて ひら  
鼻先に置いた右手のこぶしを開きなが  
まえ だ  
ら、前へ出す。